

琉球大学学術リポジトリ

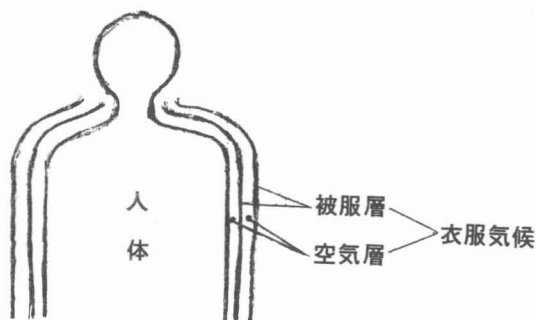
夏の気候と被服

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学農家政学部 公開日: 2011-07-06 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 仲井真, 治子, Nakaima, Haruko メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/21050

夏の気候と被服

私達は寒暑に応じて適当な被服を着ることによってその被服の中に外気候とは別な局所気候、即ち衣服気候（第一図に図説）なるものをつくっています。

第一図 衣服気候の形成



これを私達が生活機能を営むのに好適なものとして、体熱の放散を調節し、恒体温を維持し、新陳代謝を順調にしています。特に恒温多湿の沖縄では夏を快適に過ごし、作業能率を上げるためには外気候と衣服について考える必要があります。外気候をいかに調節し、体に都合良く衣服を調節するか工夫せねばなりません。この観点から夏の服装について材質の面、被服型、及び布の表面効果について述べてみます。

材質の面(被服材料)

被服材料が夏の外気候を調節する働きには通気性、吸湿性があります。衣服の中の空気の動きが無ければ私達は正常な生活々動はできません。これが通気性で、諸外国に比べて湿度の高い沖縄の夏に於いては被服材料の通気性についてまず考えねばなりません。被服材料の通気性は、繊維種別、その持つ気孔(間隙)の有無、大小、形、組織、厚さ、に関係します。Sharman Frasier 織物通気性測定器というものがあり、繊維種別には、木綿、麻、絹が通気性は大きくなっています。気孔については直通気孔注1)を持つ材料が良く、組織は平織が最も通気性が大きくなっています。

す。又、厚さが大きいほど被服材料は通気性が小となります。

吸湿性とは、しめり易さ、湿気を吸う性質です。これは身体部衣服気候に影響が大であります。夏になると皮膚からの分泌物が多いので、被服は皮膚からの不感蒸泄を十分吸湿するものでなければなりません。それには適宜の吸湿性を持つものが望ましく、特に肌着の材料となると吸湿性を必要とします。吸湿性は用いる被服材料の繊維種別によって決まります。各種繊維の吸湿性を水分率で示すと第一表のようになります。

第一表 標準状態における水分率

織 維 名		水分率%	
天然 繊維	木 綿	7~8	
	麻	6~8	
	絹	11	
	羊 毛	16	
人 造 織 維	再 織 維 生	ビスコースレーヨン	12~13
	半 織 維 合 成	アセテート	6.0
		ナイロン	4.0
		ビニロン	5.0
		テトロン	0.4
		サラ	0.1
	ア ク リ ル 系 織 維	アクリラン	1.7
		オーロン	0.9
		ダイネル	0.4
	ガラス繊維		0

この表から、一般に天然繊維は合成繊維よりも吸湿性が良く、合成繊維の中でもアクリル系繊維とガラス繊維は特に吸湿性が悪いことが分ります。

被服型

私達が暑苦しいと感じるのは被服内の湿度が60%以上になると、それにつれてCo₂（炭酸ガス）の含有量も0.04~0.08%を越え、気持が悪くなります。更に湿度が80%をこえると汗が出ます。防暑服の型としては開口部を広くして、衣服の通風性を良くして四肢の被覆面積を少くします。但し輻射熱をたくさん受ける環境に於いては四肢の露出をかえて少くします。

布の表面効果

被服材料は輻射熱を吸収します。その場合は表面の粗滑、染色の具合により異なります。粗なものは平滑なものより吸熱性は大で、光沢の無いものは光沢に富むものより吸熱性が大きくなります。吸熱性が大きいと衣服気候も大きくなります。吸熱性と色相に関しては、現在、6種の色相と輻射熱吸収性についてデータが出ていますので第二表（中島朝子「布と輻射熱との関係」）に示しました。

第二表 各色相と輻射熱吸収度

色相名	輻射熱吸収度
白	100
黄	102
暗黄	140
緑	150
紅	168
ねずみ	198
黒	208

夏は吸熱性の少い、白、明色、淡色が好ましい色といえます。

おわりに

被服は美的にのみ作られることなく、合理的基礎が大切だ、ということになります。今まで述べて来たことを、被服を作る基礎として構成されている良い例を、外出着二点、家庭着二点を挙げてこの項目を終ります。



10ページへ続く



写真1) 外出着 (3 ページの左) *

麻とレーヨンの混紡生地使用、後身頃の上半分を取ってしまったワンピースに、肩からせみの羽根のような別布をつけ、背中に多く汗をかく方のためのデザイン。

写真2) 外出着 (3 ページの右) **

生地はリネトロン (麻とレーヨンの混紡)、スリツブ型のワンピースに袖なしの上着。ヘチマ衿の先を結び、中年から50代くらいまで着られるデザイン。

*、**ともミセス 1965年7月号より。

写真3) 家庭着 ***

大きなポケットを右側につけ、共のひもで軽く結んだシフト型のワンピース。生地は木綿プリント。縫い易く、着け易く、そして洗たくにも耐える、実用性が揃った家庭着。

写真4) 家庭着 ***

ゆかた地を生ゆかした中年から年寄りまで着られるワンピース。前あきを裾近くまで開けて脱ぎ着が簡単にできるようにしている。

***ミセス 1965年8月号より。

***装苑 1963年8月号付録より。

注 1) 繊維の顕微鏡形態 (繊維断面図) には直通気孔と不定形気孔とあり、不定形気孔の繊維は通気性の点では直通気孔の繊維より劣る。

(仲井間治子)